

文化の力で大阪に活力を。

# OSAKA\*文化力

リレーエッセイ

私のsweet水都

クリス スチュアート 在大阪英国総領事

巻頭トークセッション

大阪発のブロードウェイミュージカルをつくる

出口最一×中西俊臣×堀井良殷

大阪元気文化を掘り起こせ

大阪ライフスタイルコレクション

大阪ブランド物語

北京オリンピックにかける  
大阪出身のアスリートたち

大阪文化考

全国初「食の大学院」への期待

石毛直道 国立民族学博物館名誉教授

メセナを探せ

大阪市信用金庫

No.102

2008 SUMMER・夏



# クリス スチュアート

## 在大阪英国総領事

### 日本のアンティークを愛して

日本のアンティークが大好きで、野良着や浮世絵、火鉢、箆笥、筒描(つつがき)など、日常生活で使う民芸品や、鎧などの美術品を夫婦でコレクションしています。西天満界隈にある骨董店や東洋陶磁美術館、また四天王寺で毎月21・22日に開催される弘法市(蚤の市)を訪れるのは私たちにとってとても幸せな時間です。自宅には、40~50個のそばちょこコレクションがあります。

古いもの、新しいデザイン、見たことのないものに出会うと集めてしまいます。日本の歴史にもとても興味があり、とくに坂本竜馬、そして明治維新の頃の日本とイギリスとのかかわりに強い関心を持っています。明治維新前の日本海軍とイギリスには深いつながりがあり、時間があればもっと日本の歴史の本を読みふけりたいと思っています。

### UK - JAPAN 2008

2008年は日英修好通商条約調印150周年を記念して、「UK-Japan 2008」を開催中です。さまざまなイベントや企画を通して芸術・科学技術・クリエイティブ産業の3分野で、現代の英国の創造性と革新性を紹介しながら、日英のコラボレーションの促進を目指しています。英国の良質なアートや舞台芸術、建築、デザインに代表される英国のクリエイティブ産業を紹介する多くのイベントが、西日本でも開催中です。イギリスの歴史や文化的なものについては日本でもよく知られていますが、科学技術、クリエイティブ産業がいかに素晴らしく、最先端であるかについてはまだまだ知られていません。今年4月に出席したディナーでは、クローン羊のドリーを作った科学者が日本の理化学研究所の科学者に会い、世界に先駆けた科学技術のコラボについて話し合いました。こうした形でイギリスと日本の提携の機会をつくらうとしています。

大阪には、世界をリードする大企業と最先端の技術を持つ中小企業があります。これらの企業とイギリスの企業、そして先端技術を持つイギリスの大学とのコラボレーションを一層進めていきたいと考えています。世界を牽引する企業があり、発展、変化、そして再生のプロセスにある大阪。イギリスの都市も、リバプール・マンチェスターなど、そのプロセスを経てきているのです。

### 大阪の文化

帰国前の同僚が相撲部屋に行き、とても魅力的だったとメールを送ってきたことがあります。ビジネスの街・大阪には、文楽や相撲場所など伝統的なもの、そしてすぐ近くにアクセスしやすいカントリーサイド(田舎)があり、リラクゼーションとレジャーに最適です。休みの日には、14歳の息子と芦屋浜でセーリングを楽しみます。本国では国立公園の近くピークディストリクトのカントリーサイドに住んでいたため、芦屋にいと故郷を思い出します。都会に近いのに、いのししに出会います。また、水都・大阪には水辺という大いなる資産があります。水路を探検するプランなどは、観光客を魅了しますね。

英国総領事館(大阪市中央区)にて

### クリス スチュアート (Chris Stuart) 氏

1960年 10月5日生まれ

86年 英国政府安全衛生 検査官

97年 駐日英国大使館科学技術部 一等書記官

2005年 在大阪英国総領事館 副総領事

07年 4月 在大阪英国総領事館 総領事

科学学士(化学)・労働安全衛生学修士



表紙の人 / 出口最一 (でぐちまこと) 氏

演劇プロデューサー。大阪でブロードウェイミュージカル『TRIP OF LOVE』を制作、今年4月4日~5月14日、シアターBRAVA!にて初演。ニューヨーク在住。/P2~5に記事

# 大阪発の ブロードウェイミュージカルをつくる



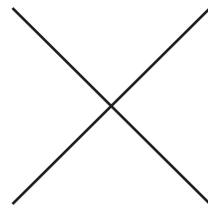
堀井良殷 理事長

出口最一 氏

中西俊臣 氏

## 出口最一

演劇プロデューサー



## 中西俊臣

ミナミ活性化委員会事務局長

## 堀井良殷

大阪21世協会理事長

### なぜ大阪で「初演」なのか

**堀井** 本場ブロードウェイミュージカルを大阪で初演するため、ニューヨークから帰ってこられたプロデューサーの出口最一さんを訪ねて、ミナミ活性化委員会事務局長の中西俊臣さんとともに、公演会場の『シアターBRAVA!』にやってきました。今回の公演はトライアウト公演と呼ばれ、ブロードウェイでの上演にさきがけて、観客の生の反応をみるために行う地方公演です。アジアで行われるのはブロードウェイ史上初とあって、大阪にとっても非常にエポックメイキングなできごとでもあります。一体、どんな舞台になるのでしょうか。



シアターBRAVA! (大阪市中央区)

**出口** ミュージカルのなかでも一番派手な、レビューというスタイルで行います。歌や踊り、美しい衣装などがふんだんに出てくる、豪華でエキサイティングなショーです。物語のベースは『不思議の国のアリス』。ひとりの少女が1960年代のアメリカに連れ去られ、戦争や革命などのいろんな体験をして、愛と平和の尊さを見つけて帰ってくるというストーリーです。だからタイトルは『TRIP OF LOVE』。音楽は、1960年代の全米ヒットチャート・トップ10の中から、ママス&パパス、ベンチャーズ、サイモン&ガーファンクルなど26曲を厳選しました。当時を知る方には、とても馴染みのある曲ばかりですよ。世界から一流のミュージシャンを集め、生のバンドで演奏しますから、それを聴くだけでも価値がありますね。

**堀井** 面白そうですね。それをなぜ大阪で初演しようと思われたのですか。

**出口** 私は奈良で生まれ、京都の大学に通い、大阪で演劇活動をしてきましたので、大阪・関西には強い思い入れがあります。学生時代に『屋根の上のバイオリン弾き』というミュージカルに出演していたとき、主演の森繁久彌さんが、「大阪はもともとお芝居のまちで、とくに道頓堀には、角座、中座、浪花座、朝日座、弁天座と劇場がいっぱいあった」とおっしゃっていました。かつての道頓堀



### 『TRIP OF LOVE』トライアウト公演(4月4日～5月14日)

界限は、ニューヨークでいえばタイムズスクエアだったんですね。劇場があって、レストランがあって、巨大な看板やネオンサインがある。お洒落して、食事を楽しんで、お芝居を観て、一杯飲んで帰るという流れがありました。劇場のほうも「隣の劇場に負けんように、もっと面白いもんを考えようやないか」って、自分たちで脚本家を探し、芝居を作るなど創造の意欲に満ちていました。しかし近年、劇場がどんどん減って集客力が落ち、かつての賑わいが見られなくなりました。劇場間で切磋琢磨することもなく、ミュージカルにいたっては、ニューヨークで流行ったものの輸入に頼っています。こうした状態が続くと、作り手もお客様も、大阪の演劇文化への接し方を忘れてしまうんじゃないかと心配ですね。「大阪の演劇文化はこれだ」と分かってもらえるようなものをつくっていかない限り、お客様は戻ってこないだろうし、大阪から日本中に、ましてや世界に発信することはできないでしょう。また現在、多くのアーティストが大阪や関西から東京に出て行っています。大阪にはその人たちを引き止める力がないんですね。気持ちのうえで東京に負けているんです。そこで大阪発のものが東京を飛ばしてニューヨークで知られば、大阪人の自信が取り戻せるんじゃないか。今回の公演が、そのきっかけになればと思っています。

**堀井** まったく同感です。トライアウト公演は大阪を元気づける快挙だと思います。ところで、道頓堀というと中西さんもミナミ活性化委員会ではいろいろな活動をされていますね。



『大阪ミナミ芸術祭』の舞台となる道頓堀商店街

**中西** ミナミ活性化委員会は、平成14年に大阪府・市をはじめ、道頓堀商店街や戎橋商店街といった地元商店街、在阪の電鉄会社、経済界などで設立されました。現在、会員数は100余りで、「伝統・文化」「緑化」「観光」「国際化」などをキーワードに、大阪の再生を目指して年間数十の事業を行っています。とりわけ力を入れているのが、今年秋に第5回を迎える『大阪ミナミ芸術祭』です。大阪の文化力を示すものといえば、映画と食と音楽。ミナミは映画興業発祥の地であり、私たちは地域や商店街の連携によって手作りの映画祭を実現しました。「食」の分野ではミナミビールやミナミワインといったミナミブランドを、地元アーティストがラベルのデザインを手がけるなどして発信しています。また、ミナミといえば日本のジャズの発祥地。その誇りをもつ地元ジャズメンに、海外のジャズバンドや若いバンドたちも加わって、数十か所でライブ演奏をくりひろげようと考えています。

**出口** そうした文化の力こそが、まちを元気にするんですね。本来大阪には、新しいものを作って競い、広めていく土壌がある。文楽や歌舞伎が日本中に広まったのも、そんな気概があったからです。

### ブロードウェイ流の作り方

**堀井** 出口さんは、今回のミュージカルをどのようにして作られたのですか。

**出口** ブロードウェイミュージカルの作り方は、日本とはぜんぜん違います。まずは一昨年秋、アメリカから5人のクリエイターを伴って大阪にやって来ました。キャストは大阪、東京、福岡、ニューヨークの4か所でオーディションを行い、515名のなかから選ばれた第一線のプロが30名。そして4週間缶詰めで稽古して、ミュージカルの土台をつくりました。それが終わるといろんな振付けやシーンのストックをいったんニューヨークに持ち帰り、演出家とどの部分をどう使うか検討し、まるでプラモデルを作るようにショーを組み立てていきます。そして今度は、全米オーディションでアメリカ人のキャスト16名を選び、大阪で稽古した振付けをもとにニューヨークでリハーサルを7週間やりました。そして再び大阪にやってきて、日本人キャ



### 出口最一（でぐちまこと）氏

1959年奈良県生まれ。京都外国語大学卒業。劇団四季を退団後、『ガイアシンフォニー』で知られる映画監督の龍村仁の監督助手を務め、87年に渡米。ニューヨークの老舗劇団「サークル・レパトリー・カンパニー」の研究生を経て、唯一の日本人として演出助手を2年半務める。その後、友人との共同製作でオフブロードウェイに進出。91年11月、『ブルーマングループ・チューブス』が大ヒットし、オビール賞、ドラマディスク賞などを受賞。現在17年目のロングラン上演を継続中。ニューヨーク在住21年。

スト7名と合わせ総出演者23名で、上演に向けて最後仕上げを行いました。ここにいたるまでには、とても多くの手間と時間がかかっているんです。

**堀井** 稽古場に、古い産業遺産の造船所跡を利用されたそうですね。

**出口** 大阪にはいろんな箱モノがあるとされているわりに、20～30人が一度に踊れるような大きなリハーサル会場がほとんどな



堀井良殿理事長

いんです。やっと見つけても期間限定で、1週間しか借りられない。私たちはどうしても4週間稽古したい。そこで最後にたどりついたのが、名村造船所跡の倉庫（大阪市住之江区）でした。サイズはいいし、鏡もある。ただしコンクリートの床をな

んとかしたいとオーナーの方に相談したら、わざわざロンドンからダンス用のマットを取り寄せてくださいました。倉庫が大きなダンススタジオに一変しましたね。そこで朝9時から夕方6時まで、毎日ダンスの稽古です。筋肉痛の方が続出し、最後は皆さんすごい体つきになりました。そういえば中西さんと初めてお会いしたのも、この稽古場でしたね。

**中西** 一昨年の秋、第3回大阪ミナミ芸術祭の最中のことです。出口さんとお話をして、大阪を文化力、とりわけアートで元気にしたいというミナミ活性化委員会の考えと、大いに通じるところがあると思いました。さきほど「大阪には新しいものをつくって広めていく土壌がある」といわれたように、私たちも現在、アートをテーマに新たな活動に取り組んでいます。そのひとつに、日本橋でんでんタウンでアニメのベンチャー企業を集めた『アニメ村』の開設があります。大阪で作ったアニメ作品を、日本だけでなくアジア諸国に発信しようという活動です。平成16年には、空海が唐に渡った804年から1200年経つのを記念し、『平成の遣唐使』として関大阪市長（当時）と中国・上海を訪れて、アニメ作品の試写会や講演会を行いました。また、聖徳太子が遣随使（607年）を派遣して1400年にあたる昨年は、『平成の遣唐使』として中国・西安を訪問し、西安文理学院（大学）でアニメ作品を紹介しました。今秋のミナミ芸術祭では、アニメの世界大会も計画しています。こうした活動は、ミナミにアジア諸国と連携したアニメ映画村をつくらうという将来構想に基づくもので、大阪を世界に向けたエンターテインメントの発信基地にしたいと思っています。



中西俊臣（なかにしとしおみ）氏

### 濡れた食パン

**出口** 文化力と言っても、結局は人の力なんですね。演劇なら、本を書く人、演じる人、そしてそれを盛り上げるプロデューサー。そういう人たちが集まって良いコンテンツをつくれれば、どこでも物事は起こります。しかし現状は、肝心の人が東京に出て行ってしまっている。じゃあ、どうすれば大阪にそんな人たちを留めることができるのか。私は、サロンのような場が必要だと考えています。

**中西** そうなんです。私たちは昨年、出口さんからサロンが必要だという提案を受けて、是非やりたいと思いました。そこで委員会の仲間に呼びかけて場所探しをしていたところ、阪神高速道路株式

会社のご理解を得て、アメリカ村の阪神高速道路のインターチェンジ入口にある同社の空事務所を借りることができました。30坪弱のスペースを改装して、今年7月にオープンする予定です。ここは、アーティストやプロデューサーの方たちが気軽に集まり自由に語れる空間であることに加え、個展を開いたり、ミナミ活性化委員会の情報や阪神高速道路のマップ情報なども提供する機能を備えています。出口さんには、このサロンのアドバイザーになっていただき、今後「アートがまちを元気にする」をキャッチフレーズに、活動の輪を広げていきたいと思っています。

**出口** サロンで語り合ったいろんな話から、実際のプロジェクトに発展することがあります。必要なのはそのプロジェクトが発生する場所、つまり苗床なんですね。コンクリートに種をまいても吹き飛ばされるだけ。湿った肥沃な土地に種をまいてこそ芽が出る。私はよく、「食パンが濡れていないとカビも生えない」というんですけど、この濡れた食パンこそが、私にとってのサロンなんです。

**堀井** まさに大阪21世紀協会も、そういう苗床の活動をしています。そのひとつに、『21カフェ』という交流サロンがあります。大阪でさまざまな文化活動に携る人たちの話を聞き、参加者とともに新しいアイデアやコラボレーションのきっかけづくりを促すもので、昨年5月から毎月開催しています。出口さんのお話も、是非お伺いしたいものです。

**出口** ありがとうございます。いろんな方々とお会いしたいですね。皆さんいろいろと思いがおありなんです、集まる場がないからアイデアが形になりにくいんです。

## ニューヨーカーが注目

**堀井** 『TRIP OF LOVE』の話に戻りますが、大阪公演のあとは、いつブロードウェイで公演されますか。

**出口** 1年後を考えています。大阪での成果をニューヨークに持ち帰り、プロダクションミーティングにかけて、さらに完成度を高めるための修正を行います。また今年の秋頃に、ニューヨーク公演用の最新キャストをオーディションで決めます。そして1月～2月にかけてリハーサルを行い、3月からブロードウェイで上演する予定です。

**堀井** 劇場はもう決まっているのですか。

**出口** こればかりは、その時に空いている劇場にしか入れません。ブロードウェイでは、40ある劇場がいつも埋まっていますから、かなり前からウェイティングをかけて、順番を待つんです。

**堀井** ブロードウェイにはブロードウェイとオフブロードウェイがあると聞いていますが、どのように違うのでしょうか。

**出口** ニューヨークのタイムズスクエアに劇場があって、500人以上の観客を収容できるのがブロードウェイ、500人未満がオフブロードウェイと呼ばれています。

**堀井** 客席数での区別なんですね。そうすると、このシアターBRAVA!はどうですか。

**出口** ここは1,100人を収容できますから、ブロードウェイと同じですね。舞台の機構も申し分ありません。ところでお二人に、ちょっと

これをご覧いただきたいのですが。

**堀井** ブロードウェイのミュージカルのプログラムですね。

**出口** そうです。『マンマミーア』『ヘアスプレー』『ウィキッド』『ジャージーボーイズ』。この他にもいろいろなものがあるんですが、私たちはそれらすべてに『TRIP OF LOVE』の広告を載せています。

**堀井** すごいですね。

ブロードウェイミュージカルのプログラムに掲載された『TRIP OF LOVE』の広告  
WORLD PREMIERE IN OSAKA, JAPAN! って大きく書いてあって、大阪城の写真まで載っている。

**出口** 「世界初のお披露目を大阪でやりますよ」とね。いま、ブロードウェイではどの劇場にいてもこの広告を目にします。新聞にも出していますから、ニューヨーカーの間で『TRIP OF LOVE』は良く知られているし、大阪でのトライアウト公演も注目されています。それとユナイテッド航空の機内誌にも広告を載せ、アジアで初めて、大阪でトライアウト公演をするという記事も書いてもらいました。

**堀井** ニューヨークでこれだけ大阪が宣伝されているなんて、大阪の人は知らないでしょうね。さらに機内誌で『TRIP OF LOVE』が世界に情報発信されている。こうした出口さんたちの非常な努力は貴重ですね。

**出口** ありがとうございます。ブロードウェイで公演する場合の、チケットの売れ行きは劇評家のコメントで大きく左右されます。劇評家が「この作品を見るべし」とってポストやタイム誌に書けば、とたんに電話が集中して、切符は半年先まで売り切れてしまうことがあります。だから劇評家を唸らせるような良い作品にするために、トライアウトで練りに練って完成度を高めるんです。

**堀井** 大阪公演にもニューヨークの劇評家は来るんですか。

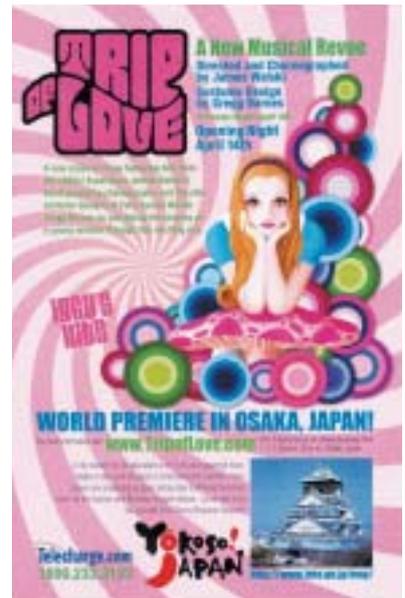
**出口** はい。千秋楽近くのもっとも完成度の高いときに、ニューヨークから劇評家を招待して、この作品は絶対ニューヨークでやるべきだという評価をもらいたいと思っています。

**堀井** そうしてニューヨーク公演の後に、再び大阪で凱旋公演をやっていたらどうか。

**出口** それは東京でやりたいと思っています。「このミュージカルは大阪でつくったんや」とって、東京でお披露目したいなど。

**堀井** なるほど。それでこそ大阪から演劇文化を発信する意味があるわけですね。トライアウト公演とブロードウェイでの大成功をお祈りいたします。本日はどうもありがとうございました。

平成20年3月28日/シアターBRAVA! (大阪市中央区)にて



## 新進クリエイターの新たな登竜門 大阪ライフスタイル コレクション

「大コレ」の名で知られ、若手ファッションデザイナーの登竜門として20年近く続いた旧大阪コレクションが、新たなスタイルで再出発して3年。大阪ライフスタイルコレクション(OLC)は、ファッションを軸に、服飾雑貨、インテリア、アート、音楽など、若手クリエイターたちの新たな発掘・育成の場として注目されている。

### 大阪発のミックスカルチャーイベント

今年のOLCは、ファッション系クリエイターの合同展示会「クリエイティブウェーブ(2月19~21日)」と、プロを目指す学生のためのファッションデザインコンテスト「クリエイターズアワード(同24日)」、事前告知ポスターのデザインコンテストで構成された。

合同展示会は、近代美術建築として国の重要文化財に指定されている「綿業会館」で開催。大阪の2大人気ブランド「遊心クリエイション」と「ジェットレーベル」をはじめ、専門学校卒業生によるビギナーズブランドや、これをビジネスチャンスにしようとするクリエイターなど28ブランドが、レトロな空間のなかで多彩なスタイルを競った。2006年に大阪・南堀江に本社ビルを構え、ファッションをはじめ、洋書、家具、自動車など多彩なライフスタイルを提案する森島純嗣さん(株式会社遊心クリエイション代表取締役)は、「大阪はもともと繊維のまちでもあり、バイヤーたちは、独創的で品質や採算性の良い作品をしっかりと見ている。東京は誰もが目立とうとしているが、大阪はそれほどでもないため、ちょっとカッコイイことをすれば目立ちやすい。こうした新しいライフスタイルを発信しやすい環境が、ビジネスチャンスを生む」と話す。

一方、NHK大阪ホールで開催されたクリエイターズアワードは、大阪をはじめ西日本の大学や専門学校などを対象に、中国からの参加グループも含め171組の応募者のなかから、1次審査を通過した30組が出演。「学校対抗」「企業コラボ」「オープン」の3クラスに分かれ、ファッションショー形式で、個性豊かな作品が約1,100人の来場者に披露された。学校対抗クラスでは、新たなマタニティファッションを提案した大阪モード学園が最優秀賞を受賞。チーム代表で初出場の堀田澤太輔さん(3年)は、「地下鉄御堂筋線の各駅で150人の妊婦さんにアンケートをとり、作品のイメージを考えた。受賞できたのはメンバー同士の協力に加え、企業と学校が一体となった成果も大きい。将来は海外で自分のブランドを展開するのが夢」と受賞の喜びを語った。

多くのクリエイターやバイヤー、業界関係者に一般市民も加わり、大いに賑わった今年のOLC。大阪発のミックスカルチャーイベントに、新進クリエイターたちの熱い鼓動が伝わった。



大阪モード学園の最優秀賞受賞作品と  
チーム代表の堀田澤太輔さん

### ファッション合同展示会場



森島純嗣さん  
(株式会社 遊心クリエイション 代表取締役)



### 前波りか子さん

大阪・中崎町でバッグの工房兼店舗「r\*kukka(アエルクッカ)」を主宰。「バイヤーさんに自分のブランドを見てもらえるチャンス。このバッグで、女性の暮らしに華やいだ雰囲気添えたい」



## 検証・大阪ブランド **スポーツ**

# 北京オリンピックにかける 大阪出身のアスリートたち

### 代表入りが続々決定

北京オリンピックの開幕が迫るなか、大阪出身のアスリートたちへの期待が高まっている。2008年4月現在で、トランポリンの上山容弘選手(大阪体育大学大学院)、シンクロナイズドスイミングの橋雅子・小林寛美両選手(浜寺水練学校)、小村恵里佳選手(井村シンクロクラブ)、マラソンの大崎悟史選手(NTT西日本)、馬術の杉谷泰造選手(杉谷乗馬クラブ)、アーチェリーの守屋龍一選手(ミキハウス)、水泳の中西悠子選手(枚方SS)、奥村幸大選手(イトマン)、藤井拓郎選手(コナミ)、入江陵介選手(近畿大学)、三田真希選手(コナミ西日本)、テコンドーの岡本依子選手(セレクション)、柔道の石井慧選手(国士舘大学)らが代表入りを決めている。

かつて大阪の存在感を示したスポーツに、女子バレーボールがあった。大松博文監督率いる日紡貝塚(当時)チームは、1961年のヨーロッパ遠征で24戦無敗。あまりの強さに欧州のマスコミから『東洋の魔女たち』と恐れられ、多くの選手が東京五輪(64年)で金メダルを手にした。貝塚市の体育館で行われた猛練習は、いまや伝説となっている。それから40数年。大阪から発祥して日本中に広まり、その強さを世界に誇っている競技にシンクロナイズドスイミングとトランポリンがある。

### 常勝軍団 — シンクロナイズドスイミング —

日本のシンクロナイズドスイミングは、国内初のスイミングスクールといわれる浜寺水練学校(毎日新聞社主宰/1906年創設)が起り。公式に披露されたのは1954年の奈良国体が最初で、70年の大阪万博では国際大会が招聘され、“浜水とシンクロ”は広く内外に知られることとなった。84年のロサンゼルス五輪では、同校出身の井村雅代コーチが指導した本間三和子(旧姓元好)、木村さえ子両選手が日本人初の銅メダルを獲得。以後、ソウル(88年)、バルセロナ(92)、アトランタ(96年)と続けて世界3強入りを果たし、シドニー(00年)、アテネ(04年)では、デュエットの立花美哉・武田美保両選手をはじめ、チームを銀メダルへと導いた。

一切の妥協を許さない井村式の猛練習は、東洋の魔女を育てた大松監督を彷彿させた。シドニー五輪前、選手に向かって「私たちはオリンピックに参加する集団ではない。金メダルを狙って戦う集団だ」と宣言したのは、自信の表れにほかならない。結果は「銀」だったが、01年の世界選手権大会では、立花・武田両選手が見事世界の頂点に立った。北京オリンピックでは、新たな選手たちにメダルの期待がかけられている。



上山容弘 選手  
個人競技・世界ランキング1位(2008年4月現在)

### 世界ランク1位の快挙 — トランポリン —

大阪にトランポリン協会が設立されたのは1978年。以来30年にわたる普及活動と数々の大会を開催し、日本の競技レベルを牽引してきた。通算44回の全日本選手権中、大阪は男子19回、女子10回の優勝を記録。そうしたなかから育ってきたのが、廣田遥選手(阪南大学職)や上山容弘選手である。

「世界レベルの選手が、しかも男女揃って大阪から育ってきたのは本当に幸せなこと」と話すのは、大阪府トランポリン協会の岩下眞樹理事長。1980年の世界選手権大会(スイス)に出場し、日本人初の銅メダルを獲得したその人である。

トランポリンがオリンピックの正式種目になったのは、シドニー大会から。廣田選手はアテネ大会で7位入賞を果たし、上山容弘選手は、05年の世界選手権大会(オランダ)で個人・団体で銀、シンクロで銅メダルを獲得。岩下さんの記録が25年ぶりに塗り替えられ、大阪はもちろん日本のトランポリン界がこの快挙に沸いた。さらに07年の世界選手権大会(カナダ)で、外村哲也選手(東京)と組んだシンクロナイズド競技で優勝。日本トランポリン史上最高を記録し、早々と北京代表入りを決めた。一方、女子枠[1]を狙う廣田選手は、4月17日の2次選考会で1位の半本ひろみ選手(金沢学院北国クラブ)とわずか0.1ポイント差で2位。五輪2大会連続出場をかけ、6月の最終選考会に挑む。

大阪が生んだシンクロナイズドスイミングとトランポリン。今年の夏は、北京から目が離せない。

## 大阪案内ショートムービー公開中!!

大阪を愛し、大阪に魅せられた映画監督やタレントが、お気に入りのエリアや思い出の場所をナビゲートする大阪案内ショートムービー。案内人は、岸和田を舞台に映画を制作した塩屋俊さん、織田作之助をテーマに大阪発の映画を構想する金秀吉さん、そして大阪出身タレントのラサール石井さん。

ムービーを見た後は、ぜひご自身で大阪のまちを歩き、体験してみてください。

### ■ 金秀吉

#### 「オダサクが愛した法善寺横丁」

動画

映画監督の金秀吉さんが、大阪に生き、大阪を愛した作家・織田作之助の足跡をたどりながら、観光客にはもっとも大阪らしさを感じさせる法善寺横丁や心齋橋などを紹介します。



### ■ 塩屋俊

#### 「人と映画と大阪と」

動画

だんじり祭で有名な大阪・岸和田で、映画『ビートキッズ』を制作した塩屋俊さん。岸和田、大阪府庁、中之島、御堂筋など、ロケを行った数々のスポットを歩きつつ、“映画のまち・大阪”にエールを贈ります。



### ■ ラサール石井

#### 「『どついたれ』に魅せられて」

動画

大阪出身のタレント・ラサール石井さんが、故郷の帝塚山を散策。大阪市内で唯一の路面電車が走り、いまだ昭和30年代頃の面影を残すまちを案内します。後半は、少年時代に愛読した手塚治虫の未完作『どついたれ』映画化の夢を語ります。



## 「多士彩才」もさらにパワーアップ!

大阪をエキサイティングにする仕掛け人たちが続々登場します。乞うご期待。



才能ある若いアーティストをdig out(発掘) 谷口純弘さん



大阪を拠点に旺盛な演劇活動 わかぎゑふさん

## 再発掘!大阪の“鍋文化”

さまざまな食材を入れ、だしを取り、さらに手を加えて作り上げる鍋料理には、カオスとしての大阪文化のエッセンスが詰め込まれています。大阪ブランド情報局では“鍋文化”をキーワードに、さまざまな情報発信を展開していきます。



### クローズアップ

ブランドを支える人 — 藤井敬久さん(サントリーブレンド室・首席ブレンド)

## 10年、20年先にも深く愛してもらえるウイスキーを

「一人ひとりに深く愛してもらえる味を追求したい」。藤井敬久さんは、京都南西部・天王山の麓にあるサントリー山崎蒸留所で、約1万樽(近江地区)の貯蔵樽を管理するブレンド7人衆のひとり。社歴23年、ブレンド歴8年の経験則で、樽の特徴、原酒の色、香り、味わい、余韻などを日々テイस्टングします。「樽ごとに原酒のキャラクターが違います。微妙な配合で安定した味を提供しています」。10年、20年先をみた、原酒開発にも余念がありません。「やってみなはれ」の社風が、個人の資質を後押ししています。



石毛直道氏に聞く――

# 日本の食文化を大阪から世界へ 全国初「食の大学院」 への期待

「天下の台所」「大阪の食い倒れ」と称され、豊かな食文化を醸成してきた大阪。その大阪の地で「食」に関する高度な知識と技術を備えた人材を育てる「食の大学院」が設立に向けて動き始めた。その発起人でもあり、日本はもちろん世界の食の文化に精通する、国立民族学博物館名誉教授の石毛直道氏に大阪の食の歴史と今後の展望を聞いた。

## 三都の食の違い

江戸時代、天下の台所として名を馳せた大阪は、全国から物資が集まり、鮮魚は瀬戸内、大阪湾、熊野灘から、近郊農村ではさまざまな野菜が栽培され、食材が非常に豊かな地でした。料理を「割烹」といいますね。「割」は切る「烹」は煮るです。江戸は江戸前で捕れた魚を刺身や握り寿司にする包丁使いの料理、京都は海が遠いので野菜を煮る料理がもともとにありました。その割烹が揃い、一番バランスがとれていたのが大阪の料理です。これは私の友人で料理研究家の奥村彪生氏の言ですが、言い得ていると思います。また、京都は茶事から発達した美しく見せる料理、江戸は見栄っ張りで食べきれないほど出し、初鯉に代表される初物好き。一方大阪は「魚鳥の鯛」です。春、瀬戸内の桜鯛の群れは鳥のように見えるほど。一番美味しい旬、値段も安いときに賞味し、贈答品にもする。かなり実質的な気風があります。これはケチではない。有名な船場汁も鯖一匹を余すことなく使い切る合理精神なのです。

## 食の教養、語る事なかれ

江戸は武士の町であり、侍文化は禁欲が旨でした。食べ物にこだわったり蘊蓄を語るのは男らしくないと。一方、大阪は商人の町。自分で稼いだお金で食べ、旨い、まずいをはっきりと言う。それは商家の旦那衆も庶民も同じでした。食に対して一家言を持つことは一種の教養でもあったのです。

明治維新後、政府は近代国家をつくるため富国強兵策を打ち出し、日本人全員に侍文化の倫理感を植えつけようとした。禁欲、公への忠義です。そのなかで大阪だけは違った。なにしろ圧倒的に武士が数が少なく、食の快楽を素直に楽しむ気風が培われていたからです。私の記憶では1970年代頃まで、食について大の男が語るのはおかしいという風潮が大阪以外では残っていました。1980年代に一億総グルメ時代がやってきて、誰もが食について語るようになりました。日本中が大阪化し、かえって大阪が目立たなくなったともいえます。全国で使われていた上方割烹や関西料理の名称も、京料理、京風料理に変わっていききました。



石毛直道 (いしげ なおみち) 氏

1963年、京都大学文学部史学科卒。国立民族学博物館館長を経て、現在同館名誉教授に。総合研究大学院大学名誉教授。専攻は文化人類学。農学博士。「食事の文明論」「麺の文化史」「ニッポンの食卓」「上方食談」ほか著書多数。

北大江公園(大阪市中央区)近くにて

## 大阪に日本食文化の拠点

今、日本料理は世界的にも非常に高い評価を受けています。外国人の研究者に、日本の食について専門的に勉強したいがどの大学がいいかとよく聞かれますが、薦められる大学がありません。また、料理人として成功した人でもさらに日本料理の歴史、器の美学、茶の湯などについて勉強したいという人がたくさんいます。私は博士課程をもつ「食の大学院」が必要だと発言してきました。食文化、食品学、栄養学、食ビジネスなど、食に対する高度な学問を横断的に学べる施設です。そしてそれはやはり日本の食文化の中心であった関西につくるべきだと。この構想が実現に向けて動き出しました。関西経済同友会や財界関係者、大阪府立大、大阪市立大、同志社大、関西大の各学長が集まり4月に懇親会が開かれました。文部科学省に設置認可を申請し、早ければ2010年度に開講の見通しです。

もう一つ、私は大阪に「食文化の博物館」をつくる構想を抱いています。食品企業単独の博物館はたくさんありますが日本全体の食文化を総合的に捉えたものはありません。展示品を見るだけでなく、料理をする風景を見る、実習もできる、もちろん食べることができ、多彩な店に出店してもらおう。それが「食の大学院」とセットとなり、日本の食文化を世界に発信できる拠点になればさらに素晴らしいと考えています。(談)

## 大阪市信用金庫

地元地域の活性化を!

# 社会貢献活動は大切な業務の一つです。

大阪市信用金庫は1927(昭和2)年、地域の中小企業と市民生活に役立つ金融機関として誕生。創立時の「相互扶助の精神」を堅持し、地域とともに発展してきた。昭和63年、理事長に就任した新堂友衛氏は、「社会貢献活動は信用金庫の業務の一つである」と提唱。以来、スポーツ、文化、青少年の育成、福祉、地元イベントなどへの積極的な協賛参加を通じて地域の活性化に貢献している。

「お客様・金庫・役職員の発展と幸せを築く(三者共栄)の経営理念を掲げる当金庫は、地域社会との共生なしには存在しません。企業にとって利益は大切ですが、見識ある自己利益を追求し、収益の一部を地元還元するという考えを貫いています」と新堂氏はいう。



大阪市信用金庫  
新堂友衛理事長

文化面では大阪を代表するイベント「御堂筋パレード」「天神祭」「大阪総おどり」などへの協賛、スポーツ面では地元Jリーグ『セレッソ大阪』の発足時からのオフィシャルスポンサーであり、アマチュアスポーツでは野球、サッカー、陸上競技大会などに協賛。特別協賛する少年軟式野球の大阪市信用金庫杯では、予選を勝ち抜いた100チームが集うという。こうした活動に一過性のものはほとんどなく、10年、20年と続いている。

また役職員たちもボランティアでイベントに参加し手伝う。昨年の「大阪城・城灯りの景」では250人が休日返上で行灯を販売した。主催者側にとって協賛金のうえに、このマンパワーの提供はなに



『大阪市信用金庫杯』を少年野球の甲子園大会として開催。



特別協賛した「大阪総おどり(2007年)」  
100人が踊り手として、400人が応援で盛り上げた。

よりの喜びだろう。市民の寄付でつくられた『天満天神繁昌亭』でも一口1万円の寄付を役職員に募ったところ、200人近くが寄付を寄せたという。

「社会貢献が業務の一つという精神が全員に浸透しつつあるのではないのでしょうか。それが誇りであり日々の仕事の原動力にもなっていると思います」



御堂筋パレードでは1989年から毎年、全国各地の郷土芸能に協賛・参加。

本業を通しての社会貢献も大きな特徴だ。1967年から中小企業の動向や実態をリサーチし『調査季報』として年4回発行。取引先や行政、報道各社や研究機関に情報

発信を行っている。さらに後継者問題を解決するため二世経営者を養成する経営塾『市信Jクラブ』を組織し勉強会を行っている。これらの活動が評価され、2006年には社団法人日本フィランソロピー協会が実施する顕彰制度『企業フィランソロピー大賞』で、特別賞の『コミュニティ・フィランソロピー賞』を受賞した。

「信金といえば中小企業にお金を融資する業務と思われがちですが、企業活動を側面からも支援するなど、業務を通じての社会貢献が大きな成果を結びつつあります」と新堂氏は、これからも継続は力と考え、幅広く多くの活動をしていきたいという。

大阪市信用金庫 本店

大阪市中央区北浜2-2-10 <http://www.osaka-shishin.co.jp/>

## 大阪発アンチエイジング・スタイル 第8回 21cafe

[平成20年1月23日／大阪市北区：レーベルカフェ]

ゲスト：森下竜一氏（大阪大学大学院医学系研究科教授・アンジェスMG株式会社取締役）

森下氏は、遺伝子医療の研究者として、バイオベンチャーの創業者として、そして政府が進める知的財産戦略のメンバーとして、現在幅広く活躍している。今回の話は、世界における遺伝子治療とバイオベンチャーの動向、内閣府が進めてきたイノベーション25の概要、メタボリック症候群が起こってきた背景と個人でできる解消法など、多岐にわたった。灘のお酒の醸造や道修町の薬種問屋にはじまる関西のバイオ歴史は、地に足のついた流れの深いもので、大学での基礎研究を製薬企業にきちんとつなげていくことが、今の大阪には必要だと強調した。



## 大阪スタイル 第9回 21cafe

[平成20年3月14日／大阪市北区：レーベルカフェ]

ゲスト：鷲田清一氏（哲学者・大阪大学総長）

大阪には、本当に大事なものは、自分たちで寄付してつくるという文化が根付いていた。18世紀には懐徳堂や適塾など、日本で一番レベルの高い学問所が商人の出資で作られていた。鷲田氏は、「気前の良さ」と「学芸」は大阪が本来持っているスタイルだとし、大阪でムーブメントを起こすならば、この本道に帰るべきだという。現在大阪大学では、「阪大スタイル」と称して、国や学問への忠誠ではなく、市民社会への忠誠を目指している。そうして大人と子ども、男性と女性、専門家と一般市民など、さまざまな異文化をもつ社会において、それらの間をきちんと橋渡しできる力を育てていきたいという。



## 大阪港ベイエリアのまちづくり・港づくり

### 第22回 賛助会員講演会・交流会

[平成20年2月14日／ワールドトレードセンター]

講師：川本 清氏（大阪市港湾局長）



大阪市港湾局長の川本氏より、大阪再生の切り札として期待が高まる大阪港ベイエリアの現状と今後の戦略についてお話いただいた。

まずは講演会に先立ち、舞洲・夢洲での現地視察が行われた。陸・海・空のアクセスが良い同地区では、近年、メーカーや物流企業による大型物流施設の建設が相次いでいる。一行は、土地利用の転換で変貌を遂げるようすを視察したあと、講演会場のWTCコスモタワーへ移動。地上252mの展望台から大阪湾を一望し、ベイエリアの活況を実感した。

講演で川本氏は、大阪港が工業港から商業港に変わっていくようすを航空写真で解説。臨海地域で進められている国の機関や教育施設、企業などの誘致計画についても映像を交えて紹介した。そして話題は国際物流の現況へ。大阪港は平成16年、国際物流機能の効率化を促すため、神戸港と連携して「スーパー中樞港湾」



夢洲では海外物流企業のコンテナヤードの建設が進む

の指定を受けている。そこで川本氏は、「アジア発着の海上コンテナ貨物が増加するなかで、より一層の国際競争力の強化を図らなければならない」と強調。アジア諸国の主要港湾をしのぐコスト・サービス水準の実現を施策目標に掲げ、基盤インフラ施設の整備や夢洲コンテナターミナル株式会社（DICT）の設立、物流・産業



の誘致、埠頭の再編などに取り組んでいることを説明した。最後に「観光交流の場としても魅力ある港づくりを推進し、水都大阪2009への発展へと繋げたい」と締めくくった。

## 藤田まことさん参加で一層賑わい

### 堂島薬師堂 節分お水汲み祭り

[平成20年2月1日/堂島薬師堂および周辺]

堂島薬師堂を中心とする北新地一帯で、春と福を呼ぶ恒例祭事が行われた。薬師寺僧侶や鬼、龍神が練り歩く「節分の鬼追い」と、僧侶が一人ひとりの竹筒護符にお香水(こうずい)を汲み清める「お水汲み」がひとつになったこの祭りは、平成16年に地元曾根崎新地や町会、商店会、経済界の呼びかけで復興したもの。今年は副代表発起人の藤田まことさんも参加し、新地本通りで「大阪締め」を行い龍の巡行に加わるなど、祭りを盛り上げた。また主会場の堂島アバンザでは、地元芸妓衆の奉納舞やホステスらによる「お化け(仮装)」なども行われ、北新地らしい艶やかな祭りとなった。



藤田まことさん(右)

お水汲み(堂島薬師堂)

## 水都大阪 文学で川をめぐる

### 第3回 水都大阪再発見クルーズ

[平成20年3月9日/土佐堀川~堂島川~大川~淀川]

今回の企画は、文学の視点から「水都大阪」の魅力を再発見する。井原西鶴、近松門左衛門、与謝蕪村、水上瀧太郎、宮本輝、高村薫など、大阪に生まれ、あるいは育った作家はじつに多い。今回は、そうした作家たちによって描かれた川を巡りながら、当時の情景や中之島の歴史を読み取った。解説は夙川学院短期大学の高島幸次教授。一般公募の75名がアクアライナーに乗船し、土佐堀川から淀川までの随所で船を留め、フリーアナウンサーの馬場尚子さんの作品朗読に聞き入った。毛馬閘門では、淀川と大川の水位差を船内から体感した。この事業は、水辺の魅力を再発見し、船舶会社などに付加価値の高いクルーズを提案するパイロット事業として、昨年秋から大阪21世紀協会の主催で行っている。



## コラボレーションのデザイン

### 平成19年度 企業メセナ・セミナー

[平成20年2月28日/大阪市北区:メビック扇町]

講師: 赤松 学氏(ユニバーサルデザイン総合研究所 所長)

松田朋春氏((株)ワコールアートセンター チーフプランナー)

藤原 明氏(りそな銀行地域サポート本部)

プレゼンター: 三村康仁氏(ゲートオブドラゴン)

アサオ ヨシノリ氏((株)月眠代表取締役)

重久 毅氏((有)ガーデンデザインオフィス代表取締役)

(株)ワコールアートセンターでは、技術者・科学者・職人・アーティストたちの出会いから、新しい視点を活かしたモノづくりを提案する「ランデヴープロジェクト」を、りそな銀行では、企業や地域、アーティストとのコラボレーション企画「REENAL(リーナル)プロジェクト」を、それぞれ展開している。「企業はアーティストをどのように支援できるか」とは逆の、「アーティストはいかに企業をお助けできるか」という観点からの活動が生まれてきていること



が印象づけられた。そしてアーティスト側からは、企業や行政に対してプレゼンテーションできる仕組みについて提案がなされた。

## PREVIEW [予告]

### 2008年サミット 財務大臣会議・大阪開催

とき: 平成20年6月13日(金)・14日(土)

場所: 大阪国際会議場(大阪市北区)

日本やアメリカ、EUなど主要8か国の財務大臣や国際機関の代表が一堂に会する国際会議が、大阪で開催されます。これは首脳会議に向けた重要な会議で、これまでに国際金融問題をはじめ、世界経済に大きな影響を与える地球環境問題など、幅広い分野について議論されてお



り、全世界に注目されています。地元大阪では、大阪府、大阪市、経済界により「2008年サミット財務大臣会議大阪推進協力委員会」を設置し、会議の支援・協力や大阪情報の発信などに取り組んでいます。会議の成功に向けて皆様のご理解・ご協力をお願いします。

ホームページ: <http://www.summit2008osaka.jp/>

# 水都大阪の新名所・ 八軒家浜港開港!!

水都再生の拠点として大阪府が整備を進めてきた八軒家浜(大阪市中央区)で、1期区間(天満橋下流200m)の船着場や遊歩道が完成。3月28日に前夜祭、同29日に開港式と毎春恒例の川開き式典が行われた。



八軒家浜は、熊野街道の起点として、また淀川舟運の中心地として古い歴史をもち、『東海道中膝栗毛』や浪曲『石松三十石船道中』、落語『三十石夢の通り路』にも登場する。

江戸時代、当地に8軒の船宿があったことから八軒家浜と呼ばれるようになった。

開港式は平松邦夫大阪市長や橋下徹大阪府知事のほか、建築家の安藤忠雄氏や経済界、地元町会の代表らが参加して行われた。桜の記念植樹に続いてテープカットが行われ、新栈橋の誕生を祝った。引続き、大川の川開き式典に移り、着岸した船の上から平松市長が川開きを宣言。大阪市消防局による祝賀放水やジェットスキーによるデモンストレーション、水上パレードが行われ、式典を盛り上げた。

また大阪21世紀協会は、開港を記念して水辺の賑わいを創出する新たなプロジェクトとして、『八軒家浜～春まつり～(3月28日～4月13日)』を開催。完成した栈橋に、桜をモチーフにしたイルミネーションや水上カフェを設置したほか、期間中の土・日には特設ステージでジャズやポップスのライブ演奏も行うなど、花見時期の大川に彩りを添えた。



ライトアップされた八軒家浜栈橋(3月28日撮影)

八軒家浜栈橋は、長さ約35メートル、幅約6～11メートルの浮き栈橋を3つ連結した構造で、波による揺れを最小限に抑える最新技術が導入されている。この整備にあわせて京阪天満橋駅と八軒家浜を結ぶエントランスも設けられ、駅改札口と水辺の遊歩道が直結。大川や対岸の南天満公園の緑が楽しめるカフェなども設置され、今後一層の賑わいと集客が期待されている。



八軒家浜栈橋から対岸の南天満公園を望む

対岸の水上栈敷席では、大阪名物・道頓堀今井の「きつねうどん」などが楽しめた



春の舟運まつり  
(3月29日～4月15日)



八軒家浜栈橋と遊歩道(3月29日)

# EVENT GUIDE [ イベントガイド ]

大阪21世紀協会では、次の各行事を後援・協賛します。みなさまの積極的なご参加、ご支援をお願いします。(平成20年4月25日現在)

	イベント名	日時	会場	主催 / 問合せ先
6月	展覧会 「ガレシジャポニスム エミール・ガレのガラス芸術にひそむ日本の美」	～7月13日 10:30～19:30(入場19:00)	サントリーミュージアム[天保山]	サントリーミュージアム[天保山] 06-6577-0001
	第30回 「海の写真コンクール」	募集:～6月20日(必着) 発表:7月上旬 展示:7月25日～8月28日 8月30日～9月30日	応募:近畿海事広報協会 展示:大阪港広域サテライト市民ギャラリー なにわの海の時空館	(社)近畿海事広報協会 06-6573-6387
	第26回 環境美化・リサイクル社会推進ポスターコンクール事業	～12月31日	大阪府内 (参加対象:大阪府内の小・中学生)	大阪府リサイクル社会推進会議 06-6944-9223
	おおさか街あそびキャンペーン	～平成21年3月31日	大阪市内 及び 大阪府内	おおさか街あそびキャンペーン推進協議会 06-6627-8230
	2008年 少林寺拳法大阪府民体育大会	6月1日 8:30～16:30	大阪市中央体育館	大阪府少林寺拳法連盟 06-6567-9339
	協同組合大阪写真家協会写真展 「家族の絆」	6月4日～12日 10:00～19:00	富士フィルムフォトサロン大阪	(協)大阪写真家協会 06-6262-1480
	古典はともだち・伝統芸能に親しむ 初夏を踊る「藤と牡丹」	6月5日 14:00～15:30	そごう劇場	特定非営利活動法人 日本伝統芸能振興会関西支部 06-6574-6911
	第17回「ミナミ花舞台」 小米朝十番勝負(その九)	6月16日 18:30～20:30	そごう劇場	「ミナミ花舞台」実行委員会 06-6453-0037
	SIGN EXPO 2008 (第23回 広告賞機材見本市)	6月18日～20日 10:00～17:00	ATC (アジア太平洋トレードセンター)	近畿屋外広告美術組合連合会 06-6776-8118
	財団法人大槻能楽堂 自主公演能	6月20日・7月12日・30日・31日 8月9日・9月5日・20日 ほか	大槻能楽堂	(財)大槻能楽堂 06-6761-8055
	すいた環境教育フェア 2008	6月21日 10:00～16:00	吹田市文化会館	すいた環境教育フェア実行委員会 06-6384-1834
	音楽の祭日 2008	6月21日・22日 10:00～19:00(予定)	国立民族学博物館、旭区民センター ほか延べ約25か所(予定)	音楽の祭日・日本事務局 090-1915-2518
	6月能勢浄るり月間 能勢人形浄瑠璃「鹿角座」公演	6月21日・29日 6月26日・27日(学校鑑賞公演)	浄るりシアター	能勢町教育委員会 072-734-3241
	タケモトピアノ presents 第48回 3000人の吹奏楽	6月22日 14:30～18:00	京セラドーム大阪	関西テレビ放送(株) 06-6314-8271
	大阪楽所 第26回 雅楽演奏会	6月28日 14:00～18:00	国立文楽劇場	大阪楽所 072-972-1090
	叙勲「旭日小綬章」記念公演 山村若佐紀 上方舞の会	6月29日 11:00～19:00	国立文楽劇場	上方舞研究所 06-6722-3708
	第54回 大阪建築コンクール	展示:6月～7月末(予定)	大阪府庁別館、 ハービスOSAKA(予定)	(社)大阪府建築士会 06-6947-1961
	7月	第三回 日本写真作家協会 関西会員展	7月14日～19日 10:00～18:00	大阪府立現代美術センター
とくい能		7月23日・8月8日・10月24日 19:00～21:00	山本能楽堂	(財)山本能楽会 06-6943-9454
展覧会 「美術館に行こう! ティック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」		7月25日～9月15日 10:30～19:30(入場19:00)	サントリーミュージアム[天保山]	サントリーミュージアム[天保山] 06-6577-0001
第38回 全国高校ギター・マンドリンフェスティバル		7月26日・27日 10:00～18:00	大阪府立青少年会館 文化ホール	(社)全日本高等学校ギター・マンドリン 音楽振興会 06-6941-7552
オーサカキング 2008		7月26日～8月3日	大阪城「西の丸庭園」 「天守閣・本丸広場」	(株)毎日放送 06-6359-1123
第9回 大阪国際音楽コンクール		7月27日～9月1日(各地) 8月23日～25日(大阪開催)	オークシアター・ユアアイホールほか	大阪国際音楽振興会 06-6625-5931
JOCハイライトコンサート in OSAKA 2008		7月30日 18:00～20:00(予定)	ザ・シンフォニーホール	(財)ヤマハ音楽振興会西日本支部 06-6647-1115
8月	第20回 なにわ淀川花火大会	8月9日(荒天の場合10日) 花火打上:19:50～20:40	上流 新淀川JR東海道線 下流 国道2号線淀川大橋	なにわ淀川花火大会 06-6301-6455
	第18回「ミナミ花舞台」 小米朝十番勝負(その十)	8月19日 18:30～20:30	そごう劇場	「ミナミ花舞台」実行委員会 06-6453-0037
	第47回 日本SF大会 DAICON7 ～想像力の発信～ 松尾塾子供歌舞伎公演	8月23日・24日 10:00～18:00 8月23日・24日 14:00開演(24日12:00開演)	岸和田市立浪切ホール 国立文楽劇場	第47回日本SF大会実行委員会 090-8537-7531 (財)松尾芸能振興財団 03-3407-6316
	わくわく宝島 2008	8月23日～31日 10:30～19:00	大阪ビジネスパーク	讀賣テレビ放送(株) 06-6947-2176
	日本民謡ヤングフェスティバル 2008 全国大会	8月24日 18:00～21:00	NHK大阪ホール	(社)全大阪みんよう協会 06-6757-7051
	9月	第30回 中学生の主張 ～伝えよう!君のメッセージ	9月6日 13:00～17:00	大阪府立青少年会館 文化ホール
歌舞伎公演 「新版 忠臣蔵」		9月18日 19:00～21:10	箕面市民会館「グリーンホール」	特定非営利活動法人 日本伝統芸能振興会関西支部 06-6574-6911

## 大阪21世紀協会 賛助会員へ入会のお願い

大阪の活性化のため、皆様のご支援をお願いします。

会費(何口でも結構です) ■法人会員 一口につき年会費10万円 ■個人会員 一口につき年会費1万円

特典 ①協会が発行する刊物の配布 ②協会が主催する各種セミナーなどへの案内  
③賛助会員の参考となる情報・資料の提供など

お問い合わせ (財)大阪21世紀協会 総務グループ TEL.06-6942-2001

本誌についてのご意見・ご感想をぜひお聞かせください。

[宛先]

〒540-0032 大阪市中央区天満橋京町1-1 大阪キャッスルホテル4階  
(財)大阪21世紀協会  
大阪ブランドグループ 広報誌担当宛 FAX.06-6942-5945



おたがいの 人権守って 明るい社会

浄瑠璃や祭文語りをルーツとし歌と語り三味線で構成。別名「浪花節」。節回しにはジャズのような即興性があり演者によって変化する。

化け上手な芝居の神様

### 芝右衛門たぬき

案内人  
菊地まどか

トチリチャンチャン、今回は中座に伝わるタヌキ伝説を、平成の創作浪曲にした。江戸の昔、道頓堀にはブロードウェイに、芝居小屋がひしめきあっていました。中でも浪速座、中座、角座、朝日座、弁天座は「浪速五座」と呼ばれ、連日、歌舞伎や文楽などが賑々しく演じられておりました。

芝右衛門というのは淡路島の洲本に住む、芝居好きなたヌキさん。徳島や淡路島に数あるタヌキ伝説の主人公の二匹で、柳田国男の『日本の昔話』にも採録されています。本来は、中座で人間に化けて芝居見物していたところ、正体を見破られてしまいイヌにかみ殺されてしまう、気の毒なお話なんです。もっともその後、祟りを畏れて「芝右衛門タヌキ大明神」として祭られ、霊験あらたかな芝居の神様として、役者さんの信仰を集めるようになるのですが。平成15年に中座が閉館するまで舞台下の奈落には祠があって、先代の片岡仁左衛門さんや藤山寛美さんも、手を合わせ

ておられたそうです。

中座は解体されましたが、跡地に建つビルには、今もタヌキ像や祠みたいなのがあるんですよ。お芝居は上演していませんが、芝右衛門さん、今もみんなを見守ってくれてるんじゃないかなあ…。そんな思いを込めて、私もここで芸事上達を祈願しました。みなさんも近くへ行ったら寄ってみてください。舞台の本当たりを約束してくれる神様だから、サマージャンボも当たるかも!?

この、ちよとゆるキャラ系のかわいいタヌキ像、宮本麗子さんが書いてくださった浪曲「芝右衛門たぬき」のイメージにピッタリだと思っています。宮本作は伝説と違ってハッピーエンドで笑いどころもいっぱい。人間たちと大立ち回りをするシーンは、何かが何して何とやらとラップのように調子よく、最後はほんわか心温まる節回しでめくる…。

「でも芝右衛門は死ぬんでしょ」って？ さあ、それはどうだか。

♪気になるお方は、まどかの舞台を見に来ておくれ、ただし木戸銭に、木の葉のお金は、勘弁♪



芝右衛門明神(セラヴィスクエア中座)  
各線「なんば」「難波」下車

#### 物語のあらすじ

#### 浪曲「芝右衛門たぬき」

淡路島洲本に住むタヌキの芝右衛門は芝居が大好きで、役者に扮しては村人を化かしていました。しかし芝右衛門に化かされると翌日は大漁になるので、村人はむしる芝右衛門のいたずらを心待ちにしました。

ある日、中座の評判を耳にした芝右衛門は、人間に化けて船に乗り、芝居見物にやってきました。しかし舞台上に興奮し、うっかりしっぽを出してしまい、芝居小屋は上を下への大騒ぎに…。

独りミュージカルと言うべき軽快さで、次から次へと繰り出されるノリのよい歌やセリフ。大人も子どもも楽しめる、わかりやすいストーリーも魅力です。

#### 浪曲師

#### 菊地まどか



父親の影響で民謡に親しみ、平成8年から櫓で河内音頭を歌い始める。13年、民謡の成世昌平師の甲会入門、名取になる。15年、京山小圓嬢師に出会い浪曲に開眼。弟子入りし17年にプロデビュー。文化庁芸術祭新人賞、大阪舞台芸術新人賞、咲くやこの花賞など受賞歴多数。実力派新人として注目を集める。新世代の浪曲師や曲師たちと「新星浪曲☆新宣組」「浪曲乙女組」を結成し路上ライブを行うなどファン裾野を広げている。

#### 浪曲を聴きに行きませんか

##### ● 上方亭ライブ

5月31日(土) 14時30分～ 展示室入場料のみ  
会場/ワッハ上方  
交通/各線「なんば」「難波」下車  
☎06-6631-0884(ワッハ上方)

##### ● 大阪「浪曲乙女組」

8月2日(土) 13時・18時・3000円  
会場/トリイホール  
交通/各線「なんば」「難波」下車  
☎06-6211-2506(トリイホール)